

「ディアスボラ・ブラジリアンにとってのアイデンティティ構築の装置としての日系スポーツ＝野球」

石原豊一

要旨

グローバル化の進展により人の移動はその範囲と量を拡大しながら加速化している。その結果として、近代以降、人は「他者」を向き合はずにはいられなくなり、エスニシティ、国籍などに自らを同一視させることを、意識的、無意識的に、半ば余儀なくされるようになった。その装置として、しばしば、近代の所産としてのスポーツが用いられる。

本発表においては、ブラジルにおいて、マイノリティたる日系人の「民族スポーツ」と見なされる米国生まれの野球が、日系ブラジル人が「還流移民」として大量に日本に移動する中、日系、非日系問わずブラジル人たちのナショナルなアイデンティティ構築の装置になっていることを指摘する。